やまと文化の森だより

企画展のご案内

併設好評開催中!!　（最終日は午後3時までの展示です）

4月の企画展
4/1（水）▶4/26（日）
○「さをり織り　そよう教室」作品展示会
○「出張　ロンド美術館」作品展
4/7（火）▶5/27（水）
○オーストラリア　プリザーブドフラワー作品展示

5月の企画展
5/1（金）▶5/27（水）
○「かずらを編む」太田尚美作品展
地元在住のかずら作家の作品を展示します。
○「薫風の頃・流木アート＆多肉植物を愉しむ」
大人気の流木アートと手作り陶器に寄せ植えした
多肉植物を展示します！
5/1（金）▶5/5（火）
○「刺し子糸の小物＆ハンドメイド洋服作品展
5/24（日）Vol.2　オルケスタ・デ・ソンリサスコンサート
午後1時半開演　入場無料
総勢20名を超えるビッグバンドのコンサートです！
○プティマルシェ　　4/5（日）・5/10（日）

ワークショップ　春の和づくり
～現代に息づく大正浪漫の魅力～
4/26(日)午後1時～定員15名　要予約
参加費2,000円（材料費）
持ち物　ボンド・はさみ

ゴールデンウィーク企画
○かずら編みワークショップ
「カトラリーケースを編む」
5/2(土)午後1時～定員15名　要予約
参加費：2000円（材料費）

○「ふれあい動物ひろば」
5/3（日）午前10時半～午後3時
入場無料

問合　山都町下市16番地　☎72−9400　開館時間　午前9時～午後5時　入館無料
休館日　毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は次の平日）、年末年始など

山の都移住すまいるセンター通信4月号

第26回 移住者交流会～そば打ち体験～

3月7日、山都町役場蘇陽支所の調理実習室で移住者交流会を開催しました。今回は「山都町蕎麦文化を創る会」代表の田上祐元さんを講師にお迎えし、そば打ち体験を行いました。大人・子どもを含む18名が参加し、10年前に移住されたご夫婦や昨年移住されたばかりの方、親子連れなど多彩な顔触れが集い「お久しぶりです！」「はじめまして！」と、活気に満ちた時間となりました。

多くの方がそば打ち初挑戦となる中、田上さんの丁寧なご指導のおかげで各テーブルで風味豊かなそばが完成。茹でたてのそばは、田上さん手作りのつゆとともに味わっていただきました。また「からりキッチン」を運営する元地域おこし協力隊の比嘉さんには、旬の野菜のかき揚げ、だし巻き卵、栗の水ようかんをご提供いただき「参加者の方々同士が会話を弾ませ、笑顔が溢れる温かな交流の場となりました」今後もこのような機会を継続して設けていきますので、ぜひお気軽にご参加ください。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

問合　まちづくり課　☎72−1158

わたしたちの人権 253

誰もが人間として生きていくうえで侵すことのできない当然の権利 これが『人権』です

人権作文の紹介（令和七年度）

今月は、矢部小学校 六年 本田恵慎さんと清和小学校 一年 佐藤侑さんの作文をご紹介します。

六年生での人権学習で学んだこと

矢部小学校六年　本田恵慎

ぼくが、六年生の人権学習で学んだことは二つあります。一つ目は、北代色さんの話です。北代さんは、子どものころ、貧しくて学校に行けませんでした。学校で道具を使う時も、お金がないので、そういう日は全部休んでいました。六十才で字を習いました。字を覚える前は、夕やけがきれいとは感じなかったのに、字を覚えるときれいと感じてうれしかったそうです。ぼくは、六十才になっても字を覚えたい気持ちが伝わってきました。

二つ目は石川一雄さんの話です。石川さんは、小さいころ、七人家族で八畳一間の古いバラックにすんでいました。石川さんは、ある事件の被疑者にされました。石川さんは、三十年以上もろうやの中にいました。ぼくは、石川さんは何もしてないのに差別をされたのがおかしいと思いました。石川さんは最後に「正しい判断力をもった、勇気ある子どもになってもらいたい。」と言いました。「正しい判断力」の意味は、差別をしてほしくないし、差別を受ける方にもなってほしくない、ふつうの人生を歩んでほしいという意味だと思いました。「勇気ある子ども」の意味は、差別や決めつけなどされたときに、勇気をつかって言い返す力をつけてほしいという意味だと、ぼくは思いました。

六年間の人権学習をふり返って、ぼくは、一言ひどいことを言っただけでも、言われた人も言った人も後悔することを知りました。自分は、モヤモヤしているとき、気持ちが落ち着かないときに友達に話しかけられたら強く当たってしまったり強い言葉を言ったりしました。友達は何もしていないのに、強く当たったことを後悔しています。

これからの生活に生かしていくことは、一つ一つの言葉を、言っていい言葉か、いけない言葉かを自分で判断できるようにがんばりたいです。また、気持ちが落ち着かないときでも優しくできるようになりたいです。学んだことだけじゃなく生活にいかせるようになりたいです。

じんけん学しゅうをして

清和小学校 一年 佐藤侑

二学きのじんけん学しゅうで、「ぼくさみしかったんだ」というおはなしで、べんきょうをしました。しゅじんこうのさとしくんは、いつもひとりで、ぽつんとかえっていました。さとしくんが、ゆうきをだして、

「いっしょにかえろう。」

といっても、まわりのともだちは、

「やくそくあるからだめ。」

とか、

「男の子は男の子とかえれば。」

といいました。ぼくは、さとしくんが、

「いっしょにかえろう。」

といっても、いっしょにかえってくれなかったので、なかまはずしだとおもいました。

ぼくは、あさ、バスの中でともだちに、

「いっしょにのろう。」

といったけど、ともだちはなんにもいわないで、ぼくのうしろのひとりのせきにすわりました。とてもかなしかったです。ぼくは、あさのけんこうかんさつで、

「ぼくが、いっしょにのろうといったのに、ともだちが、いっしょにのってくれなかったのでいやでした。」

といいました。そして、一ねんせいのみんなで、どうしたらいいか、はなしあいをしました。みんな、

「なんで、いっしょに、のってくれなかったの。」

ときいたら、ぼくが、ともだちのおなかのよこを、かさでつんつんしてきたのがいやだったからといいました。やったらだめだなとおもいました。ぼくは、ともだちに、

「ごめんね。」

とあやまりました。ともだちもあやまってくれました。こころが、すっきりしました。

その日、かえりにいっしょにのるやくそくをしました。なかよしになったら、いっしょにのってくれたからよかったです。いっしょにかえってたのしかったです。こころがすっきりしました。それから、ほかのともだちにも、

「いっしょにのろう。」

といって、のりました。じぶんのきもちをはっぴょうしてよかったなとおもいました。

これからも、ともだちに、

「いっしょにあそぼう。」

とさそっていきたいです。

自分の人権を守り
他人の人権を守る
責任ある行動を

©2010 熊本県くまモン